

施工手順書④-1

クローゼット

物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.木工事・標準仕様 / ①-2.木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆりみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



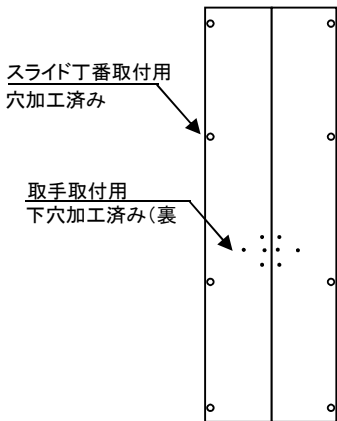
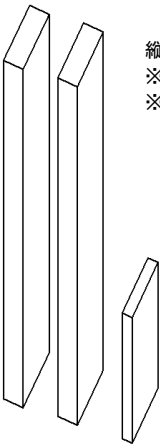
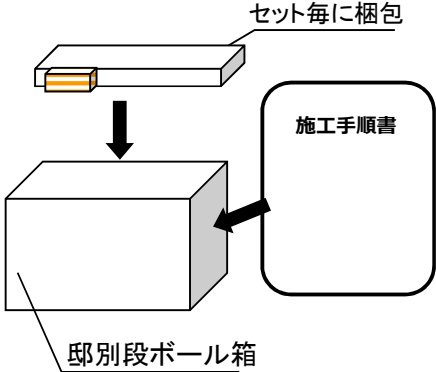
● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□納品形態

扉と同時に納品されるもの	
建具	建具同梱金物
 スライド丁番取付用 穴加工済み 取手取付用 下穴加工済み(裏)	 取手 スライド丁番 ソフトクローズキャッチ ※取手デザインはご注文内容により異なります
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱
 縦枠下地×2本 ※枠取付用下穴加工済み ※座金取付用下穴加工済み 上縦枠下地×1本	 セット毎に梱包 施工手順書 邸別段ボール箱

☐ 物入片開き戸・両開き戸

forステルス枠

施工手順書2022/1改訂

☐ 金物箱、建具の梱包内容

下地金物箱		片開き戸 標準	片開き戸 OPプッシュラッチ	両開き戸 標準	両開き戸 OPプッシュラッチ
取付ビス 	H09	4本	4本	4本	4本
	H12	6本	6本	6本	6本
	H18	8本	8本	8本	8本
	H24	8本	8本	8本	8本
	H27	10本	10本	10本	10本
座 金  ※取付ビス付	H09	2セット	2セット	4セット	4セット
	H12	3セット	3セット	6セット	6セット
	H18	4セット	4セット	8セット	8セット
	H24	4セット	4セット	8セット	8セット
	H27	5セット	5セット	10セット	10セット
化粧キャップ 	H09	2ケ	2ケ	—	—
	H12	3ケ	3ケ		
	H18	4ケ	4ケ		
	H24	4ケ	4ケ		
	H27	5ケ	5ケ		

建具及び同梱金物		片開き戸 標準	片開き戸 OPプッシュラッチ	両開き戸 標準	両開き戸 OPプッシュラッチ
建 具 	H09	1枚	1枚	2枚	2枚
	H12				
	H18				
	H24				
	H27				
取 手  ※取付ビス付 ※取手デザインはご注文内容により異なります	H09	1セット	—	2セット	—
	H12				
	H18				
	H24				
	H27				
スライドヒンジ  ※取付ビス付	H09	2セット	2セット	4セット	4セット
	H12	3セット	3セット	6セット	6セット
	H18	4セット	4セット	8セット	8セット
	H24	4セット	4セット	8セット	8セット
	H27	5セット	5セット	10セット	10セット
	特記	キャッチ有り	キャッチ無し	キャッチ有り	キャッチ無し
ソフトクローズ キャッチ  ※取付ビス付	H09	1セット	—	2セット	—
	H12				
	H18				
	H24				
	H27				
プッシュラッチ  ※取付ビス付 扉側取付 枠側取付	H09	—	1セット	—	2セット
	H12				
	H18				
	H24				
	H27				

施工前の確認事項

上枠下地・見切り材を取り付ける前に、開口部の中（図面：下地枠内ボード内）と、高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
（見切り材は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

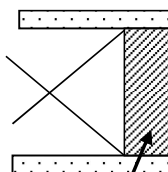
【注意事項】

※1 見切り材は躯体（構造材）と面接合するように取り付けますので、見切り材の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。

※2 施工前のW寸法確認には、図面上の下地枠内寸法（ボード内）を確認してください。

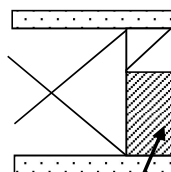
※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

※1



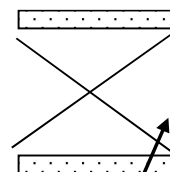
隙間がある

×



隙間がある

×



隙間なし

○

※2



石膏ボード

上枠下地の取付け

上枠下地を接着剤・取付ビス併用にてマグサに固定します。（断面の狭い方が開き側）

その際、上枠下地は壁のボード面からの位置となりますので、柱面からボード厚み分12.5mm(15mm)前に出して取り付けてください。（長さはボード内からボード内の寸法となります）

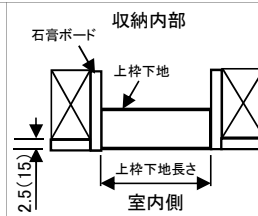
※（ ）内寸法は準耐火納まりの場合を示します。



下地裏面に
接着剤全面塗布



下地表よりビス固定

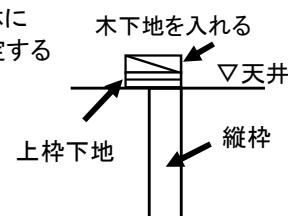
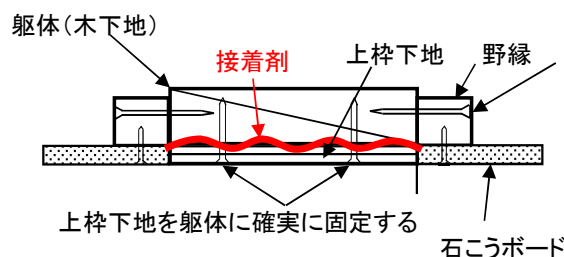


12.5mm
(15mm)

上枠下地の取付位置

標準：12.5mm 準耐火納まり：15mm

野縁を躯体にしっかりと固定します。その際、石膏ボードの厚さ分を確保してしてください。その後、石膏ボードをレール溝に合わせて野縁と上枠下地に固定してください。



ポイント

※下地枠裏面には、必ず接着剤(現場手配品)を全面に塗布してください。（酢ビ系をお奨めします）

※下地枠の取り付けには、しっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用してください。

※上枠下地の裏側には、必ず20mm（準耐火納まりの場合、30mm）以上の木下地を入れてください。

※野縁は躯体にしっかりと固定してください。上枠下地が固定されている躯体に野縁が固定されていないと、クロス割れ、よれ、塗り壁の割れの原因となります。

縦枠の取付け

柱に石膏ボードを取付けます。見切り材を石膏ボードの上から面付けします。

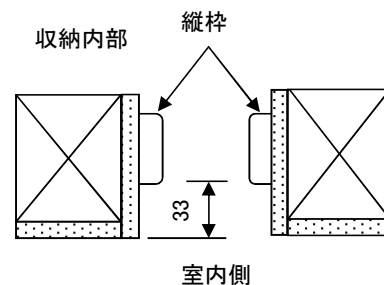
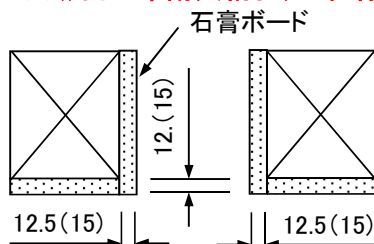
取付位置はボード面から63mm入った所に取付けます。その際、上枠下地と見切り材の端が合うように取付けてください。

<石膏ボード厚>

標準：12.5mm

準耐火仕様：15mm

※()内は準耐火納まりの仕様です。



縦枠は正寸カットで納品していますので
現場にてカットしないでください

ポイント

※縦枠は石膏ボードの上から直接取付けてください。

※収納内部に棚を設置する場合は、縦枠よりも裏側の位置に取り付けてください。

シンプル幅木の取付

幅木を接着剤で見切り材まで回して取付けてください。

接着剤はVカット部も接着剤を塗布してください。



接着剤全面塗布
(推奨：酢ビ系)



幅木の取付け方



※接着剤を塗布しないと
割れ易くなります。

幅木コーナー役物のVカット部も
接着剤を塗布して下さい。

ポイント

※出荷時には、シンプル幅木の切欠き加工がされています。

高さ30mm以上の幅木をご使用の場合は、現場で高さ方向の切り欠きを行ってください。

※厚さ7mmを超える幅木(現場手配品)には対応しておりません。

クロス施工

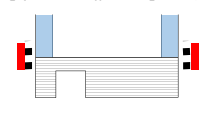
上枠部分はパテ等の下地処理をした後で、クロスを貼ってください。

(メッシュ→下塗り→上塗りをお奨めします)

【天井高納まり】の場合



【下がり壁納まり】の場合



■ : パテ
■ : メッシュテープ

天井高納まり、下がり壁納まりの場合、
上枠と石膏ボードの接合部にメッシュテープを
貼り、パテ等の下地処理を行う



メッシュテープ



パテ処理

ポイント

※上枠下地と石膏ボードの接合部はメッシュテープとパテ処理をしてください。

金物取付

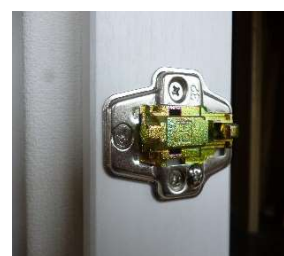
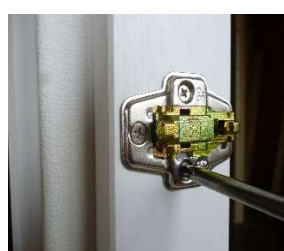
【扉側】

建具を吊り込む前に、建具裏側の加工位置に合わせて、付属のビスでスライド丁番を取り付けます。最後は手動ドライバーで完全に固定してください。丁番は建具に同梱されています。



【枠側】

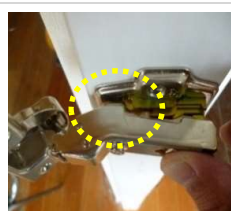
枠に座金を取り付けます。あらかじめ下穴があいてあるので、付属のビスにて取付け、最後は手動ドライバーで完全に固定してください。座金は金物箱に同梱されています。



- ポイント**
- ※ビス固定の際は、ビスを垂直に挿入して固定してください。
 - ※電動ドライバー等で強く締めすぎるとビス頭が潰れてしまう恐れがありますので、トルク調整に注意し、最後は手締めにて完全に固定してください。
 - ※片開きの場合は吊元側のみ座金の下穴加工がされています。

扉の吊り込み

枠側の座金の手前のくぼみ部分に、スライド丁番裏側の掛かり部分を引っ掛けます。



座金金物

座金の手前のくぼみ部分に引っ掛ける

スライド丁番のクリップ部分を、座金の突起部分に押し当てて装着させ、吊り込み完了です。
また、はずす時は奥の黒い部分を押し脱着させてください。



クリップ部分を座金の突起部分に押し当てる

装着時の“パチン”の音を確認

はずす時は奥の黒い部分を押し

脱着させる

- ポイント**
- ※建具の上下の取り違いにご注意ください。
 - ※スライド丁番と座金は、パチンと音が鳴るまでしっかりと押し当てて装着してください。

取手・ソフトクローズキャッチの取付

取手付の場合は、取手によって取付け穴が違います。裏側に半貫通の穴があいているので、下穴を貫通させて付属のビスにて取手を取り付けてください。（取手は建具に同梱されています）



開き戸建具裏側
半貫通穴(Φ4.5)
建具裏面の半貫通穴(Φ4.5)をドリルで貫通させる

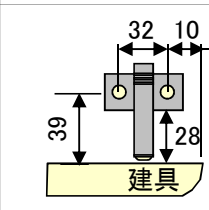


取手の取付け
(両開きの場合)

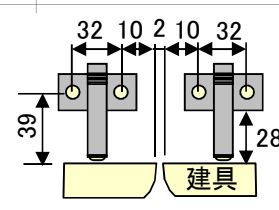
ソフトクローズキャッチを取り付けます。図を参照し、開口上部所定位置（両開き戸の場合は2箇所）にソフトクローズキャッチを取り付けてください。（ソフトクローズキャッチは別途下地金物箱にあります）



開き側



吊元側



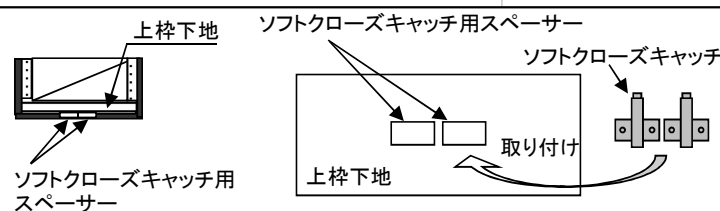
ソフトクローズキャッチの取付け

取付け位置
(片開き)

取付け位置
(両開き)

【塗り壁時のソフトクローズキャッチの取付】

物入れ両（片）開き戸の下り壁仕様の場合、ソフトクローズキャッチをソフトクローズキャッチ用スペーサーの上から取り付けてください。



ソフトクローズキャッチをソフトクローズキャッチ用スペーサーの上から取り付け

【注意】
※物入両（片）開きの下り壁の塗りは、ソフトクローズキャッチ用スペーサーと同面まで塗ってください。

ポイント

※下穴を貫通させる前に取手の取付けピッチを確認してください。
※下穴を貫通させる時は、垂直に穴を開けてください。
※ソフトクローズキャッチでの調整はできませんので、取付け位置を確認してください。

スライド丁番の調整

建具吊り込み後に調整が必要な場合は、図の手順に従って調整してください。調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。調整は建具を吊ったままの状態で行えます。



上下方向の調整
ビスを緩めて丁番を上下にスライドさせる



左右方向の調整
時計回り → 戸先側
反時計回り → 吊元側



前後方向の調整
ビスを緩めて丁番を前後にスライドさせる

【調整範囲】
上下方向：±1.5mm
左右方向：
戸先側3.0mm
吊元側1.0mm
前後方向：±2.0mm

ポイント

□MK-4型【現場クロス貼り時の注意事項】

forステルス枠

施工手順書2022/1初版

MK-4型(現場クロス貼り用収納扉)の姿図

扉の表面はMDF素地、裏面は化粧シート貼り(クロス見切り用の溝加工済・スライド丁番の座堀加工済)仕様となります。



扉の表面(MDF素地)



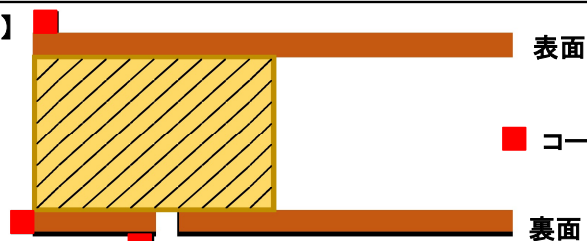
扉の裏面(化粧シート貼り)
クロス見切り用の溝加工済・
スライド丁番の座堀加工済

コークボンドを併用してクロスを貼る

4 方の扉木口にコークボンドを3列木口の角に沿って一直線に塗布してください。

【扉の断面図】

木口



表面

■ コークボンドの塗布位置

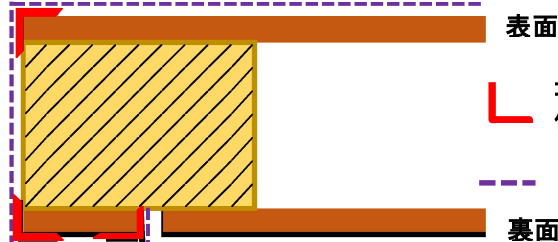
裏面



糊付けしたクロスでコークボンドを巻き込み、コークボンドを角に押し伸ばしながらクロスを貼ってください。

【扉の断面図】

木口



表面

└ コークボンドを角に押し
伸ばしながらクロスを貼る

--- クロス

裏面



ポイント

※クロスの厚みは0.5mm以下としてください。

※木粉が付いている場合は乾いたウエスでよく拭き取ってからクロスを貼ってください。

☐ 物入 4枚/6枚開き戸

forステルス枠

施工手順書2022/1改訂

☐ 建具の梱包内容

邸別の下地枠と同時に納品されるもの		4枚開き戸 標準	4枚開き戸 OPブッシュラッチ	6枚開き戸 標準	6枚開き戸 OPブッシュラッチ
開口定規 	H10	1本			
	H18	1本			
	H24	1本			
	H27	1本			
※定規の長さはご注文内容により異なります					

建具及び同梱金物			片開き戸 標準	片開き戸 OP ブッシュラッチ	両開き戸 標準	両開き戸 OP ブッシュラッチ
建 具  ※スライド丁番、取手用の穴加工済み	H10		4枚	4枚	6枚	6枚
	H18					
	H24					
	H27					
吊り込み用治具  7mm×30mm×250mm	H10		2本	2本	3本	3本
	H18					
	H24					
	H27					
取 手  ※取付ビス付 ※取手デザインはご注文内容により異なります	H10		4セット	－	6セット	－
	H18					
	H24					
	H27					
座 金  ※取付ビス付	H10		8セット	8セット	12セット	12セット
	H18		16セット	16セット	24セット	24セット
	H24		16セット	16セット	24セット	24セット
	H27		20セット	20セット	30セット	30セット
スライドヒンジ  ※取付ビス付	H10	キャッチ有り	8セット	－	12セット	－
		キャッチ無し	－	8セット	－	12セット
	H18	キャッチ有り	16セット	－	24セット	－
		キャッチ無し	－	16セット	－	24セット
	H24	キャッチ有り	16セット	－	24セット	－
		キャッチ無し	－	16セット	－	24セット
	H27	キャッチ有り	20セット	－	30セット	－
		キャッチ無し	－	20セット	－	30セット
ソフトクローズ キャッチ  ※取付ビス付	H10		4セット	－	6セット	－
	H18					
	H24					
	H27					
プッシュ ラッチ  ※取付ビス付 枠側取付 扉側取付	H10		－	4セット	－	6セット
	H18					
	H24					
	H27					

□物入 2枚/4枚/6枚開き戸(全面ミラータイプ) forステルス枠

施工手順書2022/1改訂

□梱包内容

邸別の下地枠と同時に納品されるもの		2枚開き戸 標準	4枚開き戸 標準	6枚開き戸 標準
開口定規  ※定規の長さはご注文内容により異なります	H24	1本		
	H27	1本		

建具及び建具梱包内に含まれるもの		2枚開き戸 標準	4枚開き戸 標準	6枚開き戸 標準
建 具  ※全面ミラータイプは重量があるため、扉1枚につき1梱包となります。 ※スライド丁番、取手用の穴加工済み	H24	2枚 (取手1ヶ)	4枚 (取手2ヶ)	6枚 (取手3ヶ)
	H27	2枚 (取手1ヶ)	4枚 (取手2ヶ)	6枚 (取手3ヶ)
吊り込み用治具  7mm×30mm×250mm	H24	1本	1本	1本
	H27			

建具金物箱			2枚開き戸 標準	4枚開き戸 標準	6枚開き戸 標準
取 手  ※取付ビス付 ※扉 2 枚の内、 向かって右側の扉に 1 ケ現場取付	H24		1セット	2セット	3セット
	H27				
座 金（ベースプレート）  ※取付ビス付	H24		8セット	16セット	24セット
	H27				
座金(ディスタンスプレート)  ※取付ビス付	H24		8枚	16枚	24枚
	H27				
スライドヒンジ  ※取付ビス付	H24	キャッチ有り	4セット	8セット	12セット
		キャッチ無し	4セット	8セット	12セット
	H27	キャッチ有り	4セット	8セット	12セット
		キャッチ無し	4セット	8セット	12セット
ソフトクローズ キャッチ  ※取付ビス付	H24		2セット	4セット	6セット
	H27				

【注意事項】

※全面ミラータイプの扉は、他の扉「物入片開き戸・両開き戸」、「物入4枚/6枚開き戸」と異なり、重量扉用のスライド丁番を使用しています。他の扉と金物、及び加工寸法に互換性はございません。

スライド丁番の取付け

【物入4枚・6枚開き戸】

建具を吊り込む前に、建具裏側の加工位置に合わせて、付属のビスでスライド丁番を取り付けます。最後は手動ドライバーで完全に固定してください。丁番は建具に同梱されています。



【全面ミラーの場合】

建具を吊り込む前に、建具裏側の加工位置に合わせて、付属のビスでスライド丁番を取り付けます。最後は手動ドライバーで完全に固定してください。
キャッチ付のスライド丁番は上下、キャッチ無しは間の2箇所に取付けてください。

扉裏面

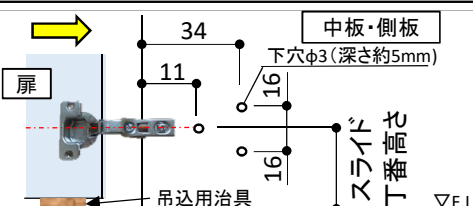


- ポイント**
- ※ビス固定の際は、ビスを垂直に挿入して固定してください。
 - ※電動ドライバー等で強く締めすぎるとビス頭が潰れてしまう恐れがありますので、トルク調整に注意し、最後は手締めにて完全に固定してください。
 - ※片開きの場合は吊元側のみ座金の下穴加工がされています。

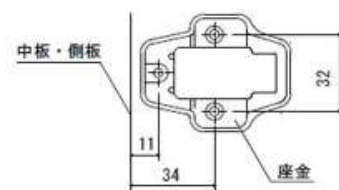
座金の取付け

【物入4枚/6枚開き戸】

座金取付位置を確認し、座金を取付けます。
扉を同梱の吊り込み用治具の上に置き、中板・側板に扉を近づけ、座金の取付位置を確認してください。



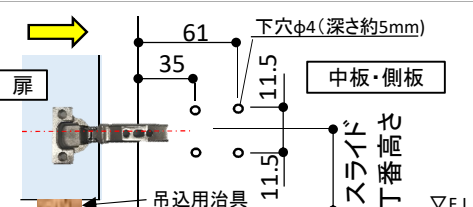
扉を吊り込み用治具の上に載せる。
中板・側板に近づけて座金取付位置を確認し下穴を開ける



座金を取付ける

【全面ミラータイプ】

座金取付位置を確認し、座金を取付けます。
扉を同梱の吊り込み用治具の上に置き、中板・側板に扉を近づけ、座金の取付位置を確認してください。



扉を吊り込み用治具の上に載せる。
中板・側板に近づけて座金取付位置を確認し下穴を開ける



ディスタンスプレートを取付ける



ディスタンスプレートの上に座金を取付ける

- ポイント**
- ※建具の上下の取り違いにご注意ください。
 - ※スライド丁番と座金は、パチンと音が鳴るまでしっかりと押し当てて装着してください。

建具の吊り込み

【物入4枚・6枚開き戸の場合】

枠側の座金の手前のくぼみ部分に、スライド丁番裏側の掛かり部分を引っ掛けます。

スライド丁番のクリップ部分を、座金の突起部分に押し当てて装着させ、吊り込み完了です。

スライド丁番をはずす時は奥のつまみを手前に押しつけて脱着させてください。



座金の手前のくぼみ部分に引っ掛ける



クリップ部分を座金の突起部分に押し当てる



＜脱着方法＞
奥の黒いつまみを手前に押しつけて脱着させる



【全面ミラーの場合】

枠側の座金の手前のくぼみ部分に、スライド丁番裏側の掛かり部分を引っ掛けます。

スライド丁番のクリップ部分を、座金の突起部分に押し当てて装着させ、吊り込み完了です。

スライド丁番をはずす時は奥のつまみを手前に押しつけて脱着させてください。



座金の手前のくぼみ部分に引っ掛ける



クリップ部分を座金の突起部分に押し当てる



＜脱着方法＞
奥のつまみを手前に押しつけて脱着させる



ポイント

【全面ミラー】建付け調整・ハンドル・ソフトクローズキャッチの取付け

※【物入4枚・6枚開き戸】の調整・ハンドルの取付けに関しては本手順書P8をご覧ください。

建具吊り込み後に調整が必要な場合は、図の順に従って調整してください。調整の際に電動ドライバーは使用しないでください。調整は建具を吊ったままの状態で行えます。

ハンドルとソフトクローズキャッチを取付けます。

ハンドルは同梱のビスで手動ドライバーを使いハンドルを取付けてください。

ソフトクローズキャッチは右図の寸法で取付けてください。



上下方向の調整
ビスを緩めて丁番を上下にスライドさせる



左右方向の調整
時計回し → 戸先側
反時計回し → 吊元側



前後方向の調整
ビスを緩めて丁番を前後にスライドさせる

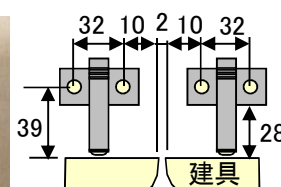
【調整範囲】
上下方向：±3mm
左右方向：
戸先側4.0mm
吊元側0mm
前後方向：
前方向1.5mm
後方向2.5mm



同梱のビスでハンドルを取付け



ソフトクローズキャッチの取付位置



ポイント